

事務事業名	健康管理センター運営事業	事業期間	~	年度	係内番号	04
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	連絡先	330	

政策 番号	01	基本 計画 体系	項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称	実行計画 の施策の 柱におけ る指標と の関連度	中
			基本計画①	01	地域福祉計画	#N/A			
			基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0401	栄養・食生活		

予 算 事 業 名	健康管理センター運営事業費	会計コード	01	款	04	項	01	目	01	事業	05
-----------	---------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
保健事業に共するための施設管理及び運営費

現 状 と 背 景
(どうして)
施設が安全に、快適に使用することができるための管理。

目 的
対 象
受 益 者
(誰のために)
市 民
対 象
(直接働きかけ)
市 民
意 図
(どんな状態にしたいか)
安全、安心して健診や予防接種を受けていただく。

手 段 ・ 方 法
(どうやって)
専門業者に委託して、点検や修繕等を行う。
空調を適温にする。

評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	点検により安全確認	点検実施率	%	点検回数÷点検依頼回数×100	100
		2					
		3					
変更履歴							

評 価 指 標 の 作 成	成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	不具合を出さない	不具合数	回	不具合の発生回数	0
		2					
		変更履歴					

実 施 状 況	項 目	単 位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	26,893,940	5,195,000	
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円	14,400,000				
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	12,493,940	5,195,000			
活 動 指 標	点検実施率	目標	100	100			
		実績	100				
		達成率	100.00	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
成 果 指 標	不具合数	目標	0	0			
		実績	5				
		達成率	%	#DIV/0!	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
備 考							

事務事業名	健康管理センター運営事業		事業期間	~	年度	係内番号	04
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係		連絡先	330	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	建物が29年経過しているため、老朽化に伴う不具合が発生している。				
	総合評価	目に見える部分は、業者に相談して修繕している。駐車場の舗装工事が完成した。				
	課題	目に見えない部分の不具合は、実際に故障しないと気付かない。利用者の安全を考え、細かい部分もチェックしていかないといけない。				
改革・改善の方向性(ACIT)	成果やコストの方向性の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業者へ依頼しなくても良い部分は、自分達で行うことで、コストを抑えることができる。 ・駐車場工事が完了したため、H30に比べコストは減少する。 ・乳幼児健診や予防接種などの事業実施時に、地震が起きた場合の想定として、蛍光灯が割れる恐れがあるため、対策をしていきたいため、R2はR元に比較し増加の見直し。 				
改革・改善の方向性(ACIT)	成果 コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・拡充 ・拡大 				

作成担当者	今井 由香				
最終評価責任者	柳澤 澄子				
最終評価年月日	令和元年5月17日				

事務事業名	運動習慣づくり事業	事業期間	2007 ~	年度	係内番号	05
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	連絡先	330	

政策 番号	01	基本 計画 体系	項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称	実行計画 の施策の 柱における 指標との 関連度	中
			基本計画①	01	地域福祉計画	0101	地域の支えあい		
			基本計画②	01	地域福祉計画	0101	地域の支えあい		
			実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0402	身体活動・運動		

予 算 事 業 名 **運動習慣づくり事業費** 会計コード **01** 款 **04** 項 **01** 目 **01** 事業 **07**

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
ウォーキングマップを作成し活用することで、市民の運動習慣の定着を図る。

現状と背景
(どうして)
生活習慣病の増加およびそれに伴う医療費の増加が問題となっています。生活習慣病予防のため、また健康づくりのため運動が有効とされています。運動習慣のある人は、増加傾向にありますが一層の推進が必要と思われます。

目的	受益者 (誰のために)	市民
	対象 (直接働きかける)	同上
	意 図 (どんな状態にしたいか)	生活習慣病予防・健康づくりのために定期的に運動をする市民が増加する。運動に関する意識のある方が増加する。

手段・方法
(どうやって)
ウォーキングのつどいの開催
ウォーキングマップの作成等
H30から、福祉21メディカル・ヨガ研究会主催の健康寿命延伸のためのメディカル・ヨガ教室との共催

評価 指標 の 作成	活動 指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	ウォーキングマップ印刷	コース数	件	印刷コース数
成果 指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	定期的な運動習慣のある人の増加(男女)	実施者の割合	%	特定健診を受けた人の中で定期的な運動習慣がある人の割合(40~64歳)	40
	2					

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	148,520	199,000	
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	148,520	199,000			
活 動 指 標	コース数	目標	6	6			
		実績	6				
		達成率	100.00	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	-	-	-	-	-
成 果 指 標	実施者の割合	目標	40	40			
		実績	28				
		達成率	70.50	-	-	-	
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	-	-	-	-	-
備 考							

事務事業名	運動習慣づくり事業		事業期間	2007 ~	年度	係内番号	05
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係		連絡先	330	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 （ C H E C K ） 改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T ）	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	（成果） 変果 動指 要標 因分 （析）	保健指導や、ウォーキングマップの紹介などの取組をしているが、なかなか運動をする人の割合は増えず前年度に比較して0.2ポイント減少、運動習慣の定着化に至っていない。					
	成果	ウォーキングマップの減少状況から、マップを利用してウォーキングをする人は増えているように感じる。					
	総合評価 課題	保健指導で適度な運動を勧めているが、年齢的なことや、仕事が忙しい等から、運動習慣の定着はハードルが高い。					
	翌々年度方向性	成果 コスト	現状維持 現状維持				
改革・改善の方向性の内容	策 び 容 内容	・健康のためには運動が必要なため、現状維持とする。 ・福祉21メディカル・ヨガ研究会が実施する健康寿命延伸のためのヨガ教室に共催をしている。運動習慣の定着を図るため、事後の教室を健康管理センターを活用して行っていることから、新年度も継続実施により、運動習慣の定着に結び付けたい。					

作成担当者	今井 由香				
最終評価責任者	柳澤 澄子				
最終評価年月日	令和元年5月17日				

事務事業名	感染症予防対策事業	事業期間	～	年度	係内番号	07
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	連絡先	330	

政策 番号	01	基本計画①	01	地域福祉計画	#N/A	実施の柱の名称	実行計画の 柱における 指標との 関連度	中						
		基本計画②	01	地域福祉計画	0000				複数の柱にまたがる事業					
		実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0401				栄養・食生活					
		項目		計画CD	計画名称				実施の柱CD					
予 算 事 業 名		感染症予防対策事業費			会計コード	01	款	04	項	01	目	02	事業	02
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		赤痢等の感染症の発生及び災害発生時の浸水家屋の防疫に関する事業												
現状と背景 (どうして)		感染症の発生や災害はいつ起こるか分からないが、発生した場合は感染の拡大を防がなくてはならない。												
目 的	受益者 (誰のために)	市民												
	対象 (直接働きかける)	市民												
	意 図 (どんな状態にしたいか)	感染症の発生時に感染の拡大を防ぎ、被害を最小に抑える。												
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	感染症の発生または浸水家屋の確認ができれば、噴霧器による消毒液の散布を行う。													
	行政が活動することで作り出すもの													
評 価 指 標 の 作 成	活動指標	1	必要物品の確認	確認	回	必要物品の確認	1							
	2													
	3													
	変更履歴													
成 果 指 標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値							
	1	浸水家屋発生時の感染症発生事例	防疫作業実績	回	浸水家屋発生時の感染症発生事例		0							
	2													
	変更履歴													

実 施 状 況 (O) 備 考	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	28,334	25,000				
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	28,334	25,000				
	活動指標	確認	目標	回	100	100		
			実績		100			
			達成率	%	100.00	-	-	-
	-	-	目標					
			実績					
			達成率	%	-	-	-	-
	-	-	目標					
実績								
達成率			%	-	-	-	-	
成果指標	防疫作業実績	目標	回	0	0			
		実績		1				
		達成率	%	#DIV/0!	-	-	-	
-	-	目標						
		実績						
		達成率	%	-	-	-	-	

事務事業名	感染症予防対策事業		事業期間	~	年度	係内番号	07
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係		連絡先	330	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変果動指要標因分～析	台風による水害が発生し、消毒を行った				
	成果	床上、床下浸水16件、5日間実施				
	総合評価					
	課題					
改革・改善の方向性(ACCT)	翌々年度方向性	成果 現状維持				
	コスト	現状維持				
改革・改善の方向性の内容	策 び 容	災害がいつ起きても対応ができるように、必要物品を揃えているが、災害の有無や、災害の規模により、コスト拡大が必要となる可能性はある。				

作成担当者	今井 由香				
最終評価責任者	柳澤 澄子				
最終評価年月日	令和元年5月17日				

事務事業名	歯科健診事業費	事業期間	～	年度	係内番号	08
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係	連絡先	330	

政策 番号	01	基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業	実行計画の 施策の 柱における 指標との 関連度	高						
		基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業								
		実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0405	歯の健康								
		項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称								
予 算 事 業 名	歯科健診事業費				会計コード	01	款	04	項	01	目	03	事業	02
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	<ul style="list-style-type: none"> ・30～60歳の5歳刻みの年齢の方を対象に歯周疾患検診を行う。歯周疾患の早期発見、早期治療により、歯周疾患が悪化することによる身体への影響（循環器疾患、糖尿病、肺炎等）の予防につなげる。 ・20歳になる人に市内の指定医療機関で歯科健診を実施する。 													
現状と背景 (どうして)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患が増加しているなか、早期発見することで治療費・治療期間が短くなる。また、歯周疾患が悪化することにより引き起こされる身体への影響（循環器疾患、糖尿病、肺炎等）を予防できる。 ・学生の際は歯科健診があるが、卒業するとその機会がなくなり歯科保健についての関心が薄れる。歯周病は、歯の喪失にとどまらず全身の疾患を引き起こす原因になるため、若いうちから正しい生活習慣を送り、自分で予防に努めることがとても重要。 													
目的	受益者 (誰のために)	市民												
	対象 (直接働きかける)	市民												
意 図 (どんな状態にしたいか)	検診を受け早期発見、治療につなげる。若いうちから歯周疾患にならないための予防をしていくためのきっかけづくりにする。													
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	<ul style="list-style-type: none"> ・検診対象者全員に個別通知する。今年度40・50・60歳になる方には検診無料券を同封する。 ・歯周疾患検診、20歳の歯科健診を指定歯科医療機関で実施する。 ・受診者を増やすため、受診勧奨をする。 													
評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
	1	未受診者への受診勧奨（歯周疾患）	受診勧奨通知発送	回		1								
2	未受診者への受診勧奨（20歳）	受診勧奨通知発送	回		1									
3														
変更履歴														
成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
1	歯周疾患検診受診の推進	歯周疾患検診受診率	%	受診者数÷対象者数	25									
2	20歳の歯科健診受診の推進	20歳の歯科健診受診率	%	受診者数÷対象者数	20									
変更履歴	H30で20歳の歯科健診の実績が目標値の15%を超えたため、2019年度は目標値を20%に変更する。													

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	2,092,240	1,837,000				
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円	425,000	363,000				
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	1,667,240	1,474,000				
	活動指標	受診勧奨通知発送	目標	回	1			
			実績	回	1			
達成率		%	100.00	-	-	-	-	
受診勧奨通知発送		目標	回	1				
		実績	回	1				
達成率		%	100.00	-	-	-	-	
-	目標	-						
	実績	-						
達成率	%	-	-	-	-	-		
成果指標	歯周疾患検診受診率	目標	%	25	25			
		実績	%	12				
	達成率	%	46.00	-	-	-		
	20歳の歯科健診受診率	目標	%	15	20			
実績		%	18					
達成率	%	118.67	-	-	-			
備 考								

事務事業名	歯科健診事業費		事業期間	~	年度	係内番号	08
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康総務係		連絡先	330	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	20歳の歯科健診受診者数は、昨年度より23人増加、歯周疾患検診は受診者数が41人増加した。受診勧奨が効果的であったと思われる。				
	総合評価	受診勧奨が効果的であったと考えられる。受診者のうち9割弱の人は、要精密検査になっており、受診を機に口腔衛生に関する知識の普及及び生活習慣の見直し等ができたのではないかとと思われる。				
	課題	歯周病は、歯の喪失にとどまらず全身疾患を引き起こす原因になることがあるため、健康を保つためにも受診者率の維持・向上をする必要がある。				
	改革・改善の方向性(ACIT)策び内容	<p>現状維持</p> <p>現状維持</p> <p>20歳の歯科健診においては、対象者が県外にいることも多く、夏の帰省時期に合わせて広報のPRを掲載、諏訪東京理科大学への啓発活動を行うことで、受診率向上に努める。20歳の歯科健診、歯周疾患検診ともに引き続き受診勧奨を行う。</p>				

作成担当者	丹羽 朱里				
最終評価責任者	柳澤 澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	保健補導員活動支援事業		事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先	330	

政策番号	01	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0401	栄養・食生活		

予算事業名	保健補導員活動支援事業費	会計コード	01	款	04	項	01	目	01	事業	09
-------	--------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
（簡潔にわかりやすく）
自らの健康意識を高め、地域住民への健康教育の実践をとおり、自らの健康は自ら守る地域住民を育て、地域の健康づくりをすすめるため、保健補導員会の支援活動を行う。

現状と背景
（どうして）
地域住民への健康教育の実践等とおし、疾病の一次予防を中心とした活動を実践し、市民の健康で安全な生活をすすめるために、保健補導員の活動が必要である。

目的
対象 受益者 全市民
対象 保健補導員等地区の健康づくりに関する役割を担う者
意図 保健補導員等が地域の中で活動しやすい環境をつくる。
（どんな状態にしたいか）

手段・方法
（どうやって）
健康づくりに関する情報提供を行う。健診結果の統計など、地域住民の健康課題を伝え、対策をともに考える。保健補導員等の学習会企画時には、専門の講師等を紹介し、活動が円滑にすすむようにする。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	保健補導員事務局会議（平成27年度から）	事務局会議開催回数	回		2
2							
3							
変更履歴							
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
	1	地域での学習会などの活動が活発化する	地区活動回数	回	活動報告書から	250	
2							
変更履歴							

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	財源内訳	事業費等(a)	円	1,847,287	1,949,000		
国庫支出金		円					
県支出金		円	168,000	240,000			
地方債		円					
その他特定財源		円					
活動指標	事務局会議開催回数	目標	回	2	2		
		実績	回	2			
		達成率	%	100.00	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	%	-	-	-	-
	成果指標	地区活動回数	目標	回	250	250	
実績			回	233			
達成率		%	93.20	-	-	-	
-		目標	-				
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	保健補導員活動支援事業		事業期間	~	年度	係内番号	02
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係			連絡先	330

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果 要因分析	健康づくりについて地域での活動に役立つ情報や市内の状況等を提供できた また、全体の学習会を開催し、その後これからのに向けての開催方法や改善点を検討した				
	総合評価	学習会では保健補導員が選出されていない地区からも参加者がおり、健康課題や市内の現状など、各地区への情報提供の機会になった				
	課題	理事会がなくなったことや、地区によって保健補導員のあり方が変わってきているため、今後も事務局会議を定期的に行い、情報共有と出てきた課題に対して検討する場を作る				
改革・改善の方向性(ACIT)	成果 コストの方向性の内容	現状維持 現状維持				
策	保健予防業務の負担金について、地区間の偏りをなくするため地区割りの金額を増やし、また活動を行ったことに対する配分となるように改善した。今後も各地区の実情を見ながらさらに検討が必要である					

作成担当者	松見 沙織				
最終評価責任者	柳澤 澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	特定保健指導事業	事業期間	2008 ~	年度	係内番号	16
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	連絡先	330	

政策 番号	01	基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業	実行計画の 施策の 柱におけ る指標と の関連度	高						
		基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業								
		実行計画	06	健康づくり計画（国民健康保険特別会計分）	0401	栄養・食生活								
		項目		計画CD	計画名称	施策の 柱CD			施策の柱の名称					
予 算 事 業 名		特定保健指導事業			会計コード	02	款	04	項	01	目	02	事業	01
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、特定健診の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導の実施が義務付けられている。標準的な健診・保健指導プログラム（厚生労働省健康局）に従い、生活習慣病の危険因子の数に応じて保健指導対象者の階層化（積極的支援・動機づけ支援・情報提供）を行い、保健師・管理栄養士により、個別に適切な保健指導を実施する。												
現状と背景 (どうして)		国保データベースシステムにより、医療費分析が可能になり人工透析を受けている方の医療費が医療費全体に占める割合が全国の同規模市と比べ高いことがわかっている。人工透析導入者の約半数に糖尿病があり、糖尿病のある方について、重症にさせないための取組が必要である。また、同規模市と比べ高血圧・脂質異常のある方の割合が高い状態である。												
目 的	受益者 (誰のために)	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方												
	対象 (直接働きかける)	国民健康保険加入者のうち、40歳から74歳の方で、特定健診を受診し一定以上のリスクのある方												
	意 図 (どんな状態にしたいか)	メタボリックシンドローム・予備軍の減少、高血圧の改善、脂質異常症の減少・糖尿病有病者の増加を抑制する。脳血管疾患・虚血性心疾患が減少する。糖尿病腎症による人工透析の新規導入が減少する。												
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	積極的支援：3か月以上の継続的な支援を行い、3~6か月後に評価を行う。 動機づけ支援：原則1回の支援を行い、3~6か月後に評価を行う。 情報提供：高血圧、脂質異常、高血糖、高尿酸、肝機能異常、貧血などの人に、医療への受診勧奨、生活改善などの保健指導を行う。糖尿病重症化予防として、糖尿病管理台帳（過去にHbA1c6.5以上になったことがある人）を作成し、地区担当者が保健指導を行う。 保健指導は、訪問・面接・電話・手紙等で行う。													
	行政が活動することで作り出すもの													
評 価 指 標 の 作 成	活動 指 標	1	特定保健指導実施者数の増加	特定保健指導実施率 (終了率)	%	特定保健指導実施者数÷保健指導が必要な 対象者	60							
		2	情報提供のうち、高血圧等のリスクのある人への保健指導実施率の増加	リスクがある人への 保健指導実施率	%	保健指導実施数÷保健指導対象者	80							
		3												
成 果 指 標	成果 指 標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
		1	高血糖で治療していない人が減少	HbA1c8以上で 治療なしの人数	人	HbA1c8以上で治療していない人数	0							
		2	重症高血圧で治療していない人が減少	重症高血圧で 治療なしの人数	人	重症高血圧で治療していない人数	0							
変更履歴														

実 施 状 況	財 源 内 訳	項	目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)				円	1,684,317	4,780,000		
		国庫支出金				円				
		県支出金				円	2,134,000	1,851,000		
		地方債				円				
	その他特定財源				円					
	一般財源				円	-449,683	2,929,000			
	活 動 指 標	特定保健指導実施率 (終了率)	目標	%	60	60				
			実績	%	未確定					
		リスクがある人への 保健指導実施率	目標	%	80	80				
実績			%	67						
-		目標	%	83.75						
		実績	%							
成 果 指 標	HbA1c8以上で 治療なしの人数	目標	人	0	0					
		実績	人	4						
	重症高血圧で 治療なしの人数	目標	人	0	0					
		実績	人	38						
達成率		%	#DIV/0!							
達成率		%	#DIV/0!							
備 考										

事務事業名	特定保健指導事業		事業期間	2008 ~	年度	係内番号	16
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先	330	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果 コスト				
課長評価日						

事業 後 評価 （ C H E C K ） 改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 （ A C T ）	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	（成果） 変 動 指 要 標 因 分 析	特定保健指導実施率は、29年度は61.6%、30年度は未確定。 リスクのある人の保健指導率が目標値に達成していない。 受診勧奨しても、受診につながっていない場合は、再度受診勧奨する必要がある。					
	（総合評価） 成 果 課 題	年3回実施している保健指導研修会で、茅野市の健康課題を分析、評価し、保健指導に生かしている。茅野市の健康課題である高血圧のチームを作り、住民に分かりやすい資料作りを試みている。 茅野市の健康課題を改善できるように、効果的に保健指導を実施できる保健師・管理栄養士の力量形成が必要。高齢化社会が進む中で、保健指導対象者も増加すると予想される。					
	（改善の方向性） 改 革 ・ 改 善 の 方 向 性 の 内 容 策 び 容	保健指導研修会で学んだことを実践していけるように、職場や地区ごとの勉強会を充実させる。また、高血圧チームのように課題ごとのチームと作り、分析や評価をしていくことも必要。事例検討なども実施し、保健指導に生かしていく。					
（改革） 翌年度方向性	成果 コスト	拡充 現状維持					

作成担当者	神澤活枝				
最終評価責任者	柳澤澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	茅野市健康づくり事業		事業期間	～	年度	係内番号	24
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先	330	

政策番号	01	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	06	健康づくり計画（国民健康保険特別会計分）	0402	身体活動・運動		

予 算 事 業 名	茅野市健康づくり事業費	会計コード	02	款	04	項	02	目	01	事業	01
-----------	-------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 食育イベント&講演会を開催し、住民が食生活に興味、関心を持ち、自らの健康や食生活を考えて過ごす機会とする。
 ウォーキングの集いを開催し、運動習慣の定着と啓発をする。

現 状 と 背 景
 (どうして)
 生活習慣病の増加に伴い、医療費の増加が問題になっている。生活習慣病予防及び重症化予防のため、望ましい食習慣や運動習慣をつけ、実践する人を増やす必要がある。

目 的
 受 益 者 (誰のために) 市民
 対 象 (直接働きかける) 市民
 意 図 (どんな状態にしたいか) 生活習慣病予防及び重症化予防のため、定期的に運動する市民や、望ましい食生活を実践する市民が増加する。

手 段 ・ 方 法
 (どうやって)
 食育イベント&講演会の開催
 ウォーキングのつどいの開催

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	食育イベント&講演会の開催	食育イベント&講演会開催数	回	食育イベント&講演会開催数	1
2	ウォーキングのつどいの開催	ウォーキングのつどい開催回数	回	開催回数	1		
3							

評価指標の作成	成果指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	食育イベント&講演会の参加者の増加	食育イベント&講演会参加者数	人	食育イベント&講演会参加者数	300
2	ウォーキングのつどい参加者数	ウォーキングのつどい参加者数	人	イベント参加者数	60		

実 施 状 況	項 目	単 位	年度				
			2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
財 源 内 訳	事業費等(a)	円	358,866	600,000			
	国庫支出金	円					
	県支出金	円	76,000				
	地方債	円					
	その他特定財源	円	279,265				
活 動 指 標	食育イベント&講演会開催数	目標	1				
		実績	1				
		達成率	100.00	-	-	-	-
	ウォーキングのつどい開催回数	目標	1				
		実績	1				
		達成率	100.00	-	-	-	-
	-	目標	-				
		実績	-				
		達成率	-	-	-	-	-
	成 果 指 標	食育イベント&講演会参加者数	目標	300	350		
実績			350				
達成率			116.67	-	-	-	-
ウォーキングのつどい参加者数		目標	60	60			
		実績	35				
		達成率	58.33	-	-	-	-
備 考							

事務事業名	茅野市健康づくり事業		事業期間	~	年度	係内番号	24
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先	330	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	前年に比べ、ウォーキングのつどいの参加者が増加した。昨年からはインターバル速歩を導入しているが、普通のウォーキングに比べ、効果が期待できることや、講師の先生の指導が好評で、参加者の増となった。				
	総合評価	楽しくイベントに参加することで、知識を習得できる。ポイント事業と連携できた。				
	課題	ウォーキングのつどいが、平日に実施するため、若い人の参加が少ない。食育イベント&講演会は、若い世代の参加者の割合が少ない。				
	改革・改善の方向性の内容	現状維持 現状維持				
改革・改善の方向性の内容	ウォーキングイベントは、早い時期から、チラシの配布を行い、多くの人に参加してもらえるようにする。食育イベント&講演会では、市民団体や関係課との連携を密にしながら、体験できる楽しいイベントの企画や、魅力的な講師の選定をして、多くの世代にらじょうしてもらえようにする。					

作成担当者	堀 美恵				
最終評価責任者	柳澤澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日				